

インプラント

こんな人にオススメ!

- 先天的に歯が足りない
- 事故で歯を失った
- ほかの歯を傷つけずに治療したい
- ブリッジや入れ歯が合わない

最近何かと話題のインプラント。体験者からは「人工の歯とは思えないほど丈夫で快適!」と喜びの声を聞くものの、「手術はやっぱりこわい」という人も多いのでは? ここではそんな不安を解決すべく、歯科の現場へ潜入しました。

私が体験しました!



佐久川可奈子さん
36歳・会社員
青葉区在住

こんなにやさしい治療だったなんて。予想外でした。

元々左右の歯の数が違い、噛み合わせが悪いのが悩みだったという佐々川さん。インプラントの存在は前々から気になっていたものの「高額だし、骨に異物を埋めるなんて怖そう」と、なかなか踏み出す勇気がなかったそう。しかし山本先生の話を聞くと、ここ数年のインプラントの技術革新は目覚しく、体への負担が少ない上に美容効果まで望めるとのこと。さらに使用感には自分の歯とほぼ変わりなく、毎日歯磨きをするたびに「あーインプラント入っていたんだっけ」と思い出す患者さんがたくさんいるそうです。「思い切って手術し、私も長年の悩みがわいてきました。前向きに考えてみたいと思います」



溝口ステーションビル歯科
院長
山本成允先生
インプラント手術は年間100件ほど。豊富な経験を生かし、術中どんな状況にも素早く対応。国際口腔インプラント学会会員でもある。

1 受付。「長年の悩み、解決できるかな……?」

生まれつき歯が1本足りず、噛み合わせの悪さに困っている佐久川さん。「(受付) 本日は院長によるカウンセリングと診断で、最適な治療法を見つけていきましょう」



2 問診。望みを叶える治療法を探ります

問診によって細かい要望も把握。「噛み合わせがよくなるよう、歯を一本増やしたい。でもほかの歯を傷つけたくない」との望みから、今回はインプラントが最適だと判明。



4 レントゲンやCTで骨の状況を確認

この画像診断によって、骨と人工歯根が結合するまでにかかる期間や、DNAを利用した「増骨治療」の必要性などが見えてきます。



3 口腔内の状況をくまなくチェック



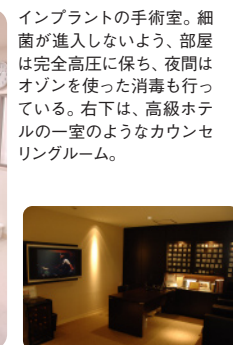
歯の色もはっきり確認し、カメラにおさめます。技工士はその色に合わせて人工の歯をつくるので、仕上がりはごく自然。気に入らなければつくり直しも可能なので、安心。

5 次回の手術へ向けて、心の不安を解消!

モニターに映っているのは、歯がほとんどなかった80代女性のレントゲン写真。術後、何でもおいしく食べられるようになり体も健康になった話を聞いて、手術を前向きに検討することに。



溝口ステーションビル歯科
電話 044-850-2388
所在地 川崎市高津区溝口2-1-1 東急溝の口駅ビル4F
料金 約30万円 (1歯基本処置) ※10年間保障付き
所要時間 約2時間 (手術時間)
他の検診メニュー
骨量が少ない人のための増骨治療、レントゲンで骨質や骨量調査ができない場合のCTスキャン、静脈内鎮静法



インプラントの手術室。細菌が進入しないよう、部屋は完全高圧に保ち、夜間はオゾンを使った消毒も行っている。右下は、高級ホテルの一室のようなカウンセリングルーム。

インプラント治療の流れ

- Step1 問診
- Step2 診断と治療計画
- Step3 インプラント手術
- Step4 人工歯根と骨が結合するまで待機
- Step5 人工の歯の装着
- Step6 メンテナンス

Q 最近よく耳にするインプラント。その魅力は?

A 体にやさしい上美容にもつながるんですよ。インプラントとは、歯を失ったところの骨に人工歯根を埋め込み、その上から人工の歯を装着する手術のこと。「体に負担がかかるのでは?」と心配される方も多いのですが、実際は正反対。ほかの歯を一切傷つけることなく、本来の歯と同様の機能を得ることができます。インプラントを包んでいるものは骨と同じ成分ですし、体にやさしい治療法といえます。正しい位置に歯を入れることで頬の形が整い、肌のしわやたるみも減るんですよ。

Q 手術と聞くとやっぱり不安。痛みはある? A スヤスヤ眠っているうちに、すべて終了! 安心ください。痛みはありません。手術中は静脈沈静法という麻酔をかけるため、気持ちよく眠っている間に終わってしまう感覚です。1日に10本近く施術する方もいますよ。ただ、術後に患部が腫れることがあります。腫れるかどうか、腫れた場合は何日くらい続くのかについては、事前にきちんとお伝えします。また、骨が薄くて人工歯根を埋められない場合はDNAを利用した「増骨治療」を行うのですが、このときも麻酔を使うため痛みはありません。

Q 全体の治療スケジュールを教えてください。 A 個人差が大きいのが特徴。まずは問診。患者さんにとってインプラントがもっとも適切な治療法だとわかれば、糖尿病などの内科的疾患についても伺っていきます。次にレントゲンやCTによる診断を行い、全体の治療計画を決めた後、手術へ。人工歯根が骨に完全につくまでは個人差があり2〜6カ月ほど。その後、人工の歯を装着します。術後はご自宅でのケアと定期検診が必須。このように時間がかかる治療ですので、前もって年間のご予定を伺い、生活に支障が出ないように治療計画を組んでいます。